

## 【大会特別規則】

2015.9.8

1. 使用機材の制限はしないが、コースの特性上（前半はコース幅が狭い、直線が少ない、コーナーが連続するなど）から安全を鑑みてノーマル機材での出走を推奨します。（DHバーについては十分に検討したうえで使用の判断をすること。）
2. P1 チームタイムトライアルにおける無線の使用には、制限を設けない。
3. 個人タイムトライアル終了後にコースをチームタイムトライアル用に切り替えをする。その後30分ほどの試走時間を設けるので各チーム必ず試走を行うこと。  
特にダム南側トンネル内の右折箇所の路面は滑りやすく大会側で安全対策はしているが十分に注意すること。
4. P1チームタイムトライアルにおいて、レースの安全を鑑みての出走人数の上限を 4名に制限する。  
なお、4名を超える人数でエントリーをしても、大会参加料は6,480円（税込）×4名分とする。
5. JBCF GUIDE 2015-2.2 <競技編> 6. チームタイムトライアル規則詳細にある「チームより50m以上遅れた選手はレースより除外する。」の文言を削除する。
6. (1) JBCF GUIDE 2015-2.2 <競技編> 6. 追走車両の項に関連して
  - ・チームタイムトライアルの機材交換については、これを認める。
  - ・交換用機材は、各チームにて準備する事。尚、飲食料の補給は認めない。(2) チームカーには、コミッセールが同乗する。

チーフコミッセール  
奥田 悦司

以上